

2016年 AIBA 認定貿易アドバイザー試験サンプル問題 国際マーケティング

第1問 次の文章は、マーケティングとは何か、に関する記述である。

問1～問5について答えなさい。

マーケティングには様々な定義がある。(ア)的定義と(イ)的定義に大別できる。

(ア)的定義では、マーケティングが社会において果たす役割を示す。マーケティングの役割は、「より高い生活水準を提供すること」だと述べられることが多くある。マーケティングの第一人者である、フィリップ・コトラーは、マーケティングの(ア)的定義について、「マーケティングとは、個人や集団が製品およびサービスを(ウ)し、提供し、他者と自由に交換することによって、自分が必要とし求めているものを手に入れる(ア)的プロセスである」としている。

(イ)的な定義では、マーケティングは、「製品を売り込む技術」とされることが多かったが、マーケティングの最も重要な部分が(エ)でないと聞くと人々は一様に驚く。セリングは、マーケティングという氷山の一角にすぎない。マネジメント理論の第一人者であるピーター・F. ドラッカーは、著書『マネジメント:基本と原則』(2001)で次のように述べている。

「(エ)の必要性は、これからも続くだろうと考えられる。しかし、マーケティングの狙いは、(エ)を不要にすることだ。マーケティングの狙いは、顧客を知りつくし、理解しつくして、製品やサービスが顧客にぴたりと合うものになり、ひとりだけで売れるようにすることである。理想をいえば、マーケティングの成果は買う気になった(オ)であるべきだ。そうなれば、あとは製品やサービスを用意するだけでよい」。

問1 (ア)に該当する最も適切な言葉を一つ選び解答用紙に記入しなさい。

- (1) サービス
- (2) 社会
- (3) 経営
- (4) 製品

問2 (イ)に該当する最も適切な言葉を一つ選び解答用紙に記入しなさい。

- (1) サービス
- (2) 社会
- (3) 経営
- (4) 製品

問3 (ウ)に該当する最も適切な言葉を一つ選び解答用紙に記入しなさい。

- (1) セグメント
- (2) 探索
- (3) 取捨
- (4) 創造

問4 (エ)に該当する最も適切な言葉を一つ選び解答用紙に記入しなさい。

- (1) 販路開拓
- (2) セリング(販売)
- (3) 顧客開発
- (4) マーチャンダイジング

問5 (オ)に該当する最も適切な言葉を一つ選び解答用紙に記入しなさい。

- (1) 小売業者
- (2) 卸売業者
- (3) ニーズ
- (4) 顧客

正解

問1:(2)、問2:(3)、問3:(4)、問4:(2)、問5:(4)

第2問 次の文章は、マーケティング・小売・物流に関する記述である。

問1～問3について答えなさい。

問1 最も不適切な説明を一つ選び解答用紙に番号を記入しなさい。

- (1) 「リレーションシップ・マーケティング」は、日本では関係性マーケティングともいわれる。狭義には、顧客との継続的な取引関係の構築と維持を目指すマーケティングの戦略ないし手法のことを意味する。
- (2) 「B to B マーケティング」とは、個人を対象に行われるマーケティングのことで企業や組織向けのマーケティングと区別して用いられる。
- (3) 主体(企業から個人・組織へ)、対象(製品・サービスからアイデア・社会的主張へ)、客体(消費者から社会一般へ)の各局面で概念が拡張されたことによって問われることになったマーケティングと社会とのかかわりを扱う領域が広義の「ソーシャル・マーケティング」である。1960年代の終わりごろから言われ始めた。

- (4) 「ダイレクトマーケティング」は、メーカーから消費者に直接、商品を販売する形態に関するマーケティングである。セールスマンによる家庭訪問販売、メーカーの直営店舗による小売販売などがある。

問2 最も不適切な説明を一つ選び解答用紙に番号を記入しなさい。

- (1) 「多頻度小口物流」とは、メーカー、卸売業、小売業の間で多くの種類の商品を少量ずつ何度も運ぶ物流システムのことである。小売業にとっては、特にコンビニエンスストアのように限られた売り場で品揃えを充実するために死に筋商品を排除し、新商品を導入して絶えず新鮮な売り場をつくるのに役立つ。
- (2) 「多品種少量販売」とは、多くの品種を少ないアイテム数でそろえて販売することである。コンビニエンスストアが典型とされる。
- (3) 「チームマーチャンダイジング」とは、メーカーと小売業者（卸売業者を含む場合もある）がプロジェクトチームをつくり、特定の商品の開発に取り組むことである。消費者に最も近い、例えばコンビニエンスストアなどが商品開発に参画することで、消費者ニーズをよりの確にくみ上げよというものである。
- (4) 「フランチャイズ・チェーン」は、事業者（フランチャイジー）が、他の事業者（フランチャイザー）との間に契約を結び、自己の商標、サービスマーク、トレードネームその他営業の象徴となる商標および経営のノウハウを用いて、同一のイメージの下に商品の販売その他の事業を行う権利を与え、一方フランチャイザーは、その見返りとして一定の対価を支払い、事業に必要な資金を投下してフランチャイジーの指導及び援助のもとに事業を行う継続的関係をいえる。

問3 最も不適切な説明を一つ選び解答用紙に番号を記入しなさい。

- (1) 「SKU (Stock Keeping Unit)」とは、これ以上細かく分けられない物理的な最小単位のことで、商品管理上の必要から生まれ発注の際の単位である。
- (2) 「オープン価格」とは、メーカーが卸売業に販売する仕切価格だけを決定してそれ以降の流通段階における販売価格は、卸売業や小売業の自由な決定にゆだねた価格のことをいう。日本では、再販売価格維持行為は、競争手段の重要な要素である価格を拘束するため、全ての商品で禁止されている。
- (3) カテゴリーとは部門や品種を横断した商品分類のことで、その1つのカテゴリーに集中して、深い品揃えと破壊的な低価格を実現した業態のことを「カテゴリー・キラー」という。
- (4) 「コールド・チェーン」とは、生鮮食品を産地から店舗まで冷凍温度帯を保って輸送すること、またはその保管と輸送のシステムをいう。冷凍温度帯とは、マイナス18度以下が国際標準となっており、日本もこれに準じている。近年では「フローズン流通」ということが多い。

正解

問1：(2)、問2：(4)、問3：(2)

第3問 次の文章はサービス貿易に関する記述である。問1～問3について、下記の指示に従って、解答用紙にその番号を記入しなさい。

<記述1>

近年、世界的に物品貿易（財貿易）の拡大が鈍化する中、サービス貿易（Services Trade）は堅調に拡大している。「通商白書2016」によると、世界の市場規模（2014年）は旅行サービスが1.2兆ドル、法務・会計・経営コンサルティング等や研究開発サービス等の専門業務サービスが1.1兆ドルで、サービス貿易の伸びを牽引している。

我が国のサービス輸出は、多くの分野で主要国と比べて、対GDP比率が低い水準にある。我が国サービス産業の競争力向上に加え、近隣新興国における（ア）が課題である（「通商白書2016」）。

問1 （ア）に入る最も適切な語句を選びなさい

- (1) コスト削減
- (2) パートナー企業のサービス品質、技術力向上
- (3) 投資環境改善など
- (4) 規制強化

<記述2>

サービス（役務）が国を超えて取引されるサービス貿易は、モノとは異なった様々な形態をとっている。WTO-GATSでは、その形態を以下の四つに分類している。（出典：外務省、WTOウェブサイト、「通商白書2016」ほか）

[注] GATS = General Agreement on Trade in Services（サービスの貿易に関する一般協定） サービス貿易の障害となる政府規制を対象とした初めての多国間国際協定。

<第1モード> 越境取引（Cross-border trade）：

ある国のサービス提供者（事業者）が自国に居ながらにして、他国にいる消費者にサービス提供を行う形態。特に近年、情報通信技術の発展により、サービス提供における「消費者と生産者の近接性」の制約を超えて拡大している。

例：ソフトウェア開発やテレフォンセンター等ビジネスサービスの海外アウトソーシ

ング等。

<第2モード> 国外消費 (Consumption abroad) :

ある国の消費者がサービスの提供者側の国に移動することによってサービスの提供が行われる形態。例：外国への観光旅行等。

<第3モード> 商業拠点 (Commercial presence) :

ある国のサービス提供者が他国に支店や現地法人などの拠点を設置して、同拠点を通じてサービスの提供が行われるもの。

主として対外直接投資を通じた海外展開の形態をとって行われるサービス貿易。

例：海外支店を通じての金融サービス、海外への飲食店や小売店の進出等。

<第4モード> 自然人の移動 (Movement of natural persons) :

ある国のサービス提供者が専門家や社員を外国に派遣して、相手国の消費者にサービスを提供する形態。例：招聘外国人アーティストによるコンサートや外国人医師による国内での医療サービス等。

問2 “外国で船舶や航空機等の修理を行うケース” や “海外の会議施設を使用して会議を行うケース” は、どのモードに該当するか、最も適切なものを選び、( イ ) に記入しなさい。

- (1) 第1モード
- (2) 第2モード
- (3) 第3モード
- (4) 第4モード

問3 上記の第3モードは、相手国において直接サービス提供を行うので、相手国側の有する規制を含む制度や環境に最も大きな影響を受ける形態であるが、同様な影響を受けやすい形態は、( ウ ) である。

- (1) 第1モード
- (2) 第2モード
- (3) 第3モード
- (4) 第4モード

正解

問1 : (3)、 問2 : (2)、問3 : (4)

第4問 次の文章は、ASEAN（東南アジア諸国連合）の概要ならびに動向について述べたものである。問1～問2について、下記の指示に従って解答用紙にその番号を記入しなさい。

ASEAN加盟国の1人当たりGDP（2014年）を域内で比較すると、（ア）が56,287米ドルでトップであり、下位のミャンマー（1,204米ドル）、カンボジア（1,090米ドル）との経済格差が大きい。

ASEANの貿易額（2014年）を見ると、輸出（1.30兆ドル）、輸入（1.25兆ドル）ともに、ASEAN域内国向けが約25%である。また、域外輸出（9,669億ドル）及び域外輸入（9,655億ドル）はいずれも、（イ）、日本、EU、米国が大きな構成比を占めている。（出典：外務省「目で見えるASEAN」2016年1月）

問1 （ア）に入る国名として最も適切なものを選びなさい。

- (1) マレーシア
- (2) タイ
- (3) シンガポール
- (4) ブルネイ

問2 （イ）に入る国名として最も適切なものを選びなさい。

- (1) オーストラリア
- (2) 中国
- (3) 韓国
- (4) インド

正解

問1：(3)、問2：(2)

第5問 次の文章は、最近の国際ビジネスやライフスタイルの変化に関する記述である。問1～問4の空欄に入る最も適切な語句の番号を解答欄に記入しなさい。

問1 「ソーシャルメディア」とは、インターネットを利用して誰でも手軽に情報を発信し、相互のやりとりができる双方向のメディアであるが（総務省「平成27年版 情報通信白書」）、その普及に伴い、個人が保有する遊休資産（スキルのような無形のものも含む）の貸出しを仲介するサービスがグローバルに成長してきた。例えば、宿泊施設の登録・提供サービス（民泊等）、乗用車、タクシーなどの利用者・ドライバーのマッ

チング・サービス、家事代行サービスなどが典型例であり、セキュリティ、信頼性の確保や利便性の向上が課題となっている。このような経済活動は「     ア     」と呼ばれる。

- (1) SNSビジネス
- (2) シェアリング・エコノミー
- (3) ビジネス・アライアンス
- (4) コード・シェアリング

問2 下記は貿易に関わる国際間の取決めもしくはルールである。これらの中で、条約によって制定されたものは（     イ     ）である。

- (1) INCOTERMS
- (2) HS Code
- (3) SWIFT Code
- (4) UCP600

問3 製造業などにおいて生産工程が内外に分散していく国際的な分業体制のことで、その工程間で、財やサービスが完成されるまでに生み出される付加価値の連鎖を（     ウ     ）という。

- (1) SCM
- (2) VA
- (3) KFS
- (4) GVC (Global Value Chain)

問4 ある製品の輸入が急増し、国内産業に被害が生じたり、そのおそれがある場合、国内産業保護のために当該製品に対して、一時的にとることのできる緊急措置をカタカナ語で「（     エ     ）措置」という。

- (1) ミニマムアクセス
- (2) セーフガード
- (3) セーフティネット
- (4) セーフモード

正解

問1：(2)、問2：(2)、問3：(4)、問4：(2)